

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度は、公益目的支出計画として位置付けている実施事業等会計区分事業（緑化推進、緑化普及啓発等）計画の一層の執行を図ると共に、その他会計として区分している事業（岐阜公園、葉草園、収益事業）についても着実な執行を図ることを念頭に事業を進めた。

以下、事業概要を報告する。

1 実施事業等会計

(1) 実施事業等（公益目的）緑化推進事業

① 緑化推進事業

ア 花飾り講習会の開催

市民を対象に年4回（14日間）開催を計画し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図った。

冬の寄せ植え、オリジナルしめ縄の作成など、お正月の準備を楽しんでいただいた。各講習会とも応募者が多く盛況であった。

参加者に緑化推進として、種子（水栽培スイセン・ダリア球根等）及び、花と緑のガーデニングノート等を配付することにより、家庭での緑化推進に寄与した。

実施日及び参加者数	計	250人	(前年度 398人)
参加者内訳	12月8、9、10日	110人	
	12月16、17日	70人	
	3月9、10日	70人	

※今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、第1回(5月)、第2回(9月)を中止した。

イ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理をした。

市民からの依頼に基づき、樹木医を派遣し相談に応じた。

保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施した。

診断件数	45件	1,404,000円	(前年度 45件 1,404,000円)
------	-----	------------	----------------------

ウ 保存樹・保存樹林への対応

市内で指定された保存樹・保存樹林の適正な維持管理をした。

- ・保存樹等管理者講習会の開催

12月1日 北部コミュニティセンター 31人
(前年度 40人)

「保存樹・保存樹林の健康管理について」と題して、農林水産省指定樹木医により講義を実施した。

メネデール（植物活性剤）を配付した。

- ・保存樹・保存樹林の補助金交付事業

登録数 保存樹 64件 保存樹林 20件

保存樹 55件 350,000円 (前年度 56件 361,000円)

保存樹林 20件 490,000円 (前年度 20件 490,000円)

※保存樹64件のうち9件については、管理者自体で管理できるため、補助金を辞退した。

② 緑化普及啓発事業

ア わが家のシンボルツリー記念樹配付

配付本数 900本 1,577,400円 (前年度 607本 1,078,000円)

第1回 令和2年11月29日 561本

第2回 令和3年3月14日 339本

民有地緑化推進パンフレット、花と緑のある暮らし、みどりのまちだより及び緑化推進種子を配付した。

※第1回は、新型コロナウイルス感染予防対策のため延期とした前年度の第2回シンボルツリー記念樹配付分が含まれる。

イ 各種の奨励補助金の交付

民有地緑化の普及を図るため各種の補助金を交付した。

- ・張芝奨励補助金交付 22件 608,970円
(前年度 20件 595,000円)
- ・生け垣づくり奨励補助金交付 1件 26,000円
(前年度 5件 132,800円)

大型店舗（7店舗）、住宅展示場、造園業者、建築関係業者に民有地緑化事業のパンフレットを配布した。

ウ 市民活動団体への活動支援

緑化等普及啓発に資するよう市民による関連活動の促進を図った。

- ・緑化団体支援
ふれあい花壇団体交流会を3日間実施した。

南部、北部、西部コミュニティセンターで実施し、参加者に緑化推進として、球根ヒヤシンス、及び冊子「花と緑のガーデニングノート」等を配付した。

参加団体 240団体

参加者数 154人 (前年度 522人)

参加者内訳

10月20、21、22日 154人 (前年度 264人)
秋(パンジー)の花苗を240団体に配付した。

※今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、春のふれあい花壇団体交流会、花苗配付は中止した。それに代わり7種類の種子(球根グラジオラス、ゼフィランサス、玉すだれ、ヘリクリサム、パンジー、ききょう、ペチュニア)、冊子(こんな花や緑を育てたい、ハーブを育てる)を送付した。

・自然環境保全活動団体支援

岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づいた団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。

9団体 570,000円 (前年度 9団体 570,000円)

③ 緑化基金造成、管理

主催又は参加するイベント時に基金活動を行った。

基金活動を兼ねて以下のイベントに参加し、緑化啓発パンフレット、種子及び花の配布を行った。

ア 一般募金額 総計 64,500円 (前年度 180,423円)

・ 第48回道三まつり(若宮町歩行者天国) ※中止
0円 (前年度 40,473円)

・ フローラリー岐阜(長良公園) ※中止
0円 (前年度 22,100円)

・ 第64回ぎふ信長まつり(若宮町歩行者天国) ※中止
0円 (前年度 35,500円)

・ 第10回ふれあい緑化フェア R2.10.24
11,700円 (前年度 11,500円)

・ シニアワークフェア R2.11.7
34,800円 (前年度 26,800円)

・ 第2回岐阜市エコフェスタ ※不参加
0円 (前年度 44,050円)

・ 第2回花飾り講習会 R2.12.16
18,000円 (前年度 0円)

団体寄付金（岐阜市） 1 件

岐阜市役所 28 部所の職員から寄付を受け、球根（チューリップ）の配布をした。

1099 口 550,947 円（前年度 973 口 490,602 円）

イ 緑化基金現在高

前期末残高 301,630,026 円

当期増加高 615,447 円

当期末残高 302,245,473 円

（2） 実施事業等（継続） 梅林公園管理事業

市の業務仕様の着実な執行と共に、下記の事業を行った。

① 剪定した梅の木をチップ化し、マルチ材として活用した。

② 梅の開花時期に合わせて、梅だよりとして当財団ホームページに週 1 回、計 9 回掲載した。

岐阜市のホームページにもリンクしており、利用者からは好評であった。

③ 市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園守る会、D51 守る会）の皆さんに清掃用具を貸し出すとともに、園内の清掃・管理を協働で行った。

令和 3 年 3 月に実施予定の梅林公園「第 69 回ぎふ梅まつり」は、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となった。

2 その他会計事業

（1） 他 1 岐阜公園等管理事業

岐阜市との協働による公園維持管理業務（アルバイト職員 3 名を派遣）、来園者駐車場（堤外駐車場、堤外第 2 駐車場、大宮町駐車場）及び華松軒（和室、茶室等）の管理業務並びに使用料収納業務事務を行い、公園来園者のサービス向上に努めた。

① 駐車場の利用状況

・堤外駐車場（収容台数 143 台）

利用総数 83,383 台（前年度 96,416 台）

一日平均 228 台（前年度 264 台）

・堤外第 2 駐車場（収容台数 36 台）

利用総数 21,410 台（前年度 26,631 台）

一日平均 58 台（前年度 73 台）

・大宮町駐車場

（収容台数 バス 17 台（普通車 28 台）、障がい者等 12 台）

利用総数 バス 720 台（前年度 2,697 台）

一日平均	2台	(前年度	7台)
自家用車	22, 277台	(前年度	13, 039台)
一日平均	61台	(前年度	35台)

※緊急事態宣言中の4月22日から5月16日まで駐車場を閉鎖した。

② 岐阜公園来園者環境整備状況

- ア 来園者に対する誘導をスムーズにするため、パンフレット「岐阜公園駐車場案内図」の配布に努めた。
- イ 岐阜公園、岐阜城・金華山への来訪者に対する「おもてなしの心」の一環として、岐阜公園駐車場に花のプランターを設置した。
- ウ 来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。
- エ 華松軒の利用促進を図るため、案内看板を設置した。
- オ コロナ対策の一環として、和室に空間除菌脱臭機（ジアイーノ）を設置した。
- カ 来園者が庭園を眺めながら呈茶を楽しめるように野立て傘を設置した。

- ③ 日本の伝統文化「茶の湯」の体験と普及啓発のため毎年行う市民茶会「一期一会茶の湯」を中止した。それに代わり、立札茶席の大型画面で紹介するお茶の作法のビデオを作成した。

(2) 他2 薬草園管理事業

- ① 岐阜薬科大学の指示・指導の下、薬草園の維持管理及び市民への薬草に関する正しい知識の普及に努めた。
- ② ボランティア勉強会（毎月第2水曜日）を新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止とした。
- ③ 標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。
- ④ 一般公開（毎週月、水、金、日曜日）を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止とした。

開園日数	0日	(前年度	163日)
見学者	0人	(前年度	964人)

- ⑤ オウレン特別公開も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 他3 自動販売機事業等収益事業

当財団の貴重な運営財源である収益事業の概要は、次のとおりである。

自動販売機事業	(設置数 32台)	(前年度 32台)
収益額	4,710,583円	(前年度 4,526,108円)

※ 大河ドラマ館のために設置した自動販売機2台は、予定通り(5月中旬までに)撤去。

立礼茶席事業	利用者数 6,820人	(前年度 9,214人)
収益額	3,392,950円	(前年度 3,988,900円)

※ 7都府県緊急事態宣言発令に伴い4月7日から5月16日まで立礼茶席を休業した。また5月17日以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席数を半数以下に減らし、アルコール消毒などを徹底して営業を開始した。

総合計収益額	8,103,533円	(前年度 8,515,008円)
--------	------------	------------------